

## I T 化に即したパソコン研修 【CPDS（継続学習制度）対象】

### ◆ I T 建設科

No.	コース名		日 程	日数	内 容
	受講料（会員外）	定員	時 間 帯	時限	
003	3D活用する 建設現場の可視化 1		4/15, 16, 17	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場におけるイメージアップの一環として、特記仕様書の「完成予想図」、「工法説明図」、「パンフレット・工法説明ビデオ」等が例示されています。昨今の現場では、3Dによる完成予想図が作成されており、交通規制図においても従来の平面図に加え、3Dによる交通規制イメージは、ドライバー視点による問題点発見にも役立っています。本研修ではSketchUp及びフリーソフトを用いて3Dや動画を活用した現場を可視化する手法について解説します</li> </ul>
	21,060円(23,220円)	15	9:20~16:40	21	
104	3D活用する 建設現場の可視化 2		3/16, 17, 18	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎講師 齊藤忠光（建設110番）</li> <li>◎使用ソフト Trimble SketchUp、フリーソフト(Dropbox)</li> </ul>
	21,060円(23,220円)	15	9:20~16:40	21	
004	電子納品と情報共有術 1		5/20, 21, 22	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道の主たる発注機関では、電子納品に関する要領・基準を基本とした独自の運用ガイドラインが策定されており、北海道開発局及び北海道建設管理部では、それらに基づいた電子納品が求められています。特に北海道開発局では、完成図面のオリジナルファイルや工事写真のダイジェスト版等は、独自のルールに則って対応する必要があり、それら最新内容の解説と電子納品、検査時における留意点について解説します</li> </ul>
	21,060円(23,220円)	15	9:20~16:40	21	
105	電子納品と情報共有術 2		3/2, 3, 4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎講師 林 克弘（建設110番）</li> <li>◎使用ソフト 電子納品支援システム・チェックシステム、フリーソフト(Dropbox)</li> </ul>
	21,060円(23,220円)	15	9:20~16:40	21	
005	建設業が担う 地域貢献と社会性		5/26, 27, 28	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設業は、地域生活において重要な役割を担っています。工期を遵守し安全に工事を進めるほか、施工管理上、普段気付かない改善ポイントや気配りすべき要素が多く存在します。第三者の目線から現場はどのように見えているかの検証は大切です。また長年培った技術を後世に伝えるため、現場が最低限実施しなくてはならない点も紹介します。その他、現場における視線導線や安全確保、緊急時の対応について北海道開発局での取組の紹介と現場でできる対応策について解説します</li> </ul>
	21,060円(23,220円)	15	9:20~16:40	21	
106	建設現場のIT活用と プレゼン能力向上		2/24, 25, 26	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場においてスマートフォンやタブレットPC等の携帯端末を用いた情報共有や仕事の効率化、安全管理等、最先端のICT技術活用が急速に進行しています。タブレットPCの活用では、ネット環境が必須であるクラウド対応も要求されます。現場情報化の先進例について、参考となる情報やiPadを利用した現場地図情報の活用事例を交え解説します</li> </ul>
	21,060円(23,220円)	15	9:20~16:40	21	

●対象者 マウス操作、文字入力、ファイルコピー、フォルダ作成ができる方  
※各コースとも、会場に備え付けのパソコンを使用します

対象助成金：キ質 助成対象時間：20時間

### 【CPDS（継続学習制度）対象】コースの注意事項

上記コースを受講する際、本人確認のためCPDS技術者証または本人確認ができる書類をご提示いただきます。また、ユニット数は訓練時限数と異なる場合があります。